

1. 沿革 (抜粋)

昭和40年	9月	社会福祉法人肢体不自由児施設第二石川整肢学園開設
昭和50年	4月	同学園内に、小松市立波佐谷小学校・同瀬谷中学校施設内特殊学級開設 石川県立小松瀬領養護学校開校 施設内特殊学級を閉鎖し児童生徒は石川県立小松瀬領養護学校へ転入 小・中学部設置 児童生徒数75名 初代校長橋光弘着任
昭和51年	4月	第二石川整肢学園内に「せせらぎ学級」を開設 本校中学部卒業生36名に対し、施設訪問指導を行い、養護学校高等部に準じた教育を実施
昭和52年	4月	高等部設置 高等部仮設教育棟完成 管理棟68.26㎡増設
昭和53年	4月	橋光弘校長転出 第2代校長山岸文衛着任
昭和55年	4月	山岸文衛校長退職 第3代校長岩木幹夫着任
昭和56年	8月	校舎建設起工式を挙げる
昭和57年	11月	新校舎落成式を挙げる
昭和58年	4月	岩木幹夫校長転出 第4代校長久保重義着任
昭和59年	1月	校舎正面及び北側駐車場消雪装置設置
	10月	創立10周年記念式典を挙げる
昭和60年	3月	手摺増設工事完了
	4月	屋外運動場の工事完成・竣工式を挙げる。
昭和61年	4月	久保重義校長退職 第5代校長福井光澄着任。
昭和63年	8月	福井光澄校長死去 9月 第6代校長南川寿夫着任
平成3年	4月	南川寿夫校長退職 第7代校長中川寛二着任
平成5年	4月	中川寛二校長退職 第8代校長福島繁着任 通学生の受け入れ開始
平成6年	10月	創立20周年記念式典を挙げる 校歌碑建立
平成7年	4月	学校給食を開始
平成8年	4月	福島繁校長退職 第9代校長河崎勉着任
平成9年	4月	河崎勉校長転出 第10代校長西孝治着任
平成10年	4月	西孝治校長退職 第11代校長押田弘光着任
平成11年	2月	建具・ガラス改修工事(紫外線カット工事)完了
平成12年	3月	屋外防水改修工事(管理棟)完成
	4月	押田弘光校長退職 第12代校長橋本護着任
平成13年	4月	スクールバス運行開始
	8月	1階生徒トイレ改修工事完了
平成15年	4月	橋本護校長退職 第13代校長斉藤誠浩着任 「養護学校における医療的ケアサポート実践研究」指定校(15・16年) (県) 非常勤看護師1名配置
平成16年	10月	創立30周年記念式典を挙げる
平成17年	4月	斉藤誠浩校長退職 第14代校長伊林永幸着任 「盲・ろう・養護学校における医療的ケア実施体制整備事業」指定校(県)
平成18年	3月	正面玄関にキャノピー設置
平成18年	4月	「特別支援教育体制推進事業推進校」指定校(文部科学省) 臨時的任用講師(看護師)1名配置
平成19年	4月	伊林永幸校長転出 第15代校長楠景二着任
平成20年	4月	楠景二校長転出 第16代校長坂田哲之着任
平成22年	4月	石川県立小松瀬領特別支援学校と校名変更 坂田哲之校長転出 第17代校長中泉俊一着任
平成24年	4月	中泉俊一校長退職 第18代校長中川雄一着任
平成26年	4月	中川雄一校長転出 第19代校長木越明子着任
平成26年	10月	創立40周年記念式典を挙げる
平成27年	4月	木越明子校長転出 第20代校長藤田耕造着任
平成28年	4月	藤田耕造校長転出 第21代校長西啓子着任
平成28年	10月	大規模改修工事(管理棟・教室棟)完了
平成30年	4月	西啓子校長退職 第22代校長小山田真由美着任
平成31年	4月	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業(文部科学省)
令和3年	4月	小山田真由美校長退職 第23代校長荒島康敬着任
令和6年	4月	荒島康敬校長退職 第24代校長橋高陽子着任

2. 教育目標

- ・児童生徒一人一人の障害の種類や程度、心身の発達及び個に応じた教育を進める。
- ・児童生徒の主体性を育み、それぞれの能力や可能性の伸長に取り組む。
- ・自立を促し、共生社会の一員として健康で心豊かに生きる人間を育成する。

3. 校訓

- 自立 自分のできることは自分でしようとする生活態度を身につけ、豊かに生きる。
明朗 まわりの人たちと和やかに、明るく、希望を持って生きる。
克服 身体の不自由に負けず、感謝の心を大切にし、たくましく生きる。

4. 今年度の重点目標

- (1) 授業実践力の向上(個別最適な学びの実践、自立活動の充実、GIGAスクールの推進)
- (2) 安全・安心、生き活きた学校づくり(医療的ケア体制の強化、実際に即した危機管理、効率的・協働的業務の推進)